

地域コース・荻窪コース

荻窪に自分の居場所・活動場所

をつくろう

～大人の放課後＝「部活」をはじめよう～

学 習 支 援 者 高橋 明子

学習支援補助者 加藤 俊也

染谷 貞夫

原田 佐和子

檜枝 光太郎

渡邊 麗



# 荻窪コース

## 1. 概要

荻窪コースは、3年目の開催でした。1年目は、「新”荻窪はっけん伝第1章～今だからこそ 知ろう・つながろう・伝えよう～」というテーマで、自分の「荻窪ストーリー」を冊子にまとめました。2年目の昨年度は、「新・荻窪はっけん伝を描こう～荻窪を聴き歩き・知らなかったことを深めよう～」とし、荻窪にゆかりのある方々にインタビューをし、「ワクワク・ビト」という冊子にして発行しました。3年目の今年度は、荻窪で“アクション”を起こそう！ということで、「荻窪に自分の居場所・活動場所をつくろう～大人の放課後＝「部活」をはじめよう！～」というタイトルでスタートしました。今年度も、卒業生を含め地域での活動経験豊かな荻窪サポーターズ（荻サポ）の協力を得て、講座の企画を行うとともに、受講生に伴走する運営を行いました。

昨年に続いて新型コロナウイルスの感染症対応の1つに会場定員を考慮し、受講生20人でのスタートでした。感染拡大の心配もありましたが、対面開催をするべく準備を進めていきました。皆様の体調管理のお陰で、今年度講座のビッグイベント「お試しいvent企画」も含め、全て対面で開催することができました。講座では、様々な活動をされている荻サポの皆さんの地域活動に至るまでの話、活動の苦労や楽しかった話などを伺いました。また第3回には3チームに分かれて、3か所の地域拠点に行き、そこで活動されている先輩たちの活動のお話を伺いました。第6回は、自分たちの企画した「お試しいvent」を開催。午前中は地域拠点2か所で、午後は荻窪地域区民センターで、お互いに参加できるイベントを実施しました。最終回は、「お試しいvent」の振り返りをみんなで言い、荻窪でこれからどうしていきたいか…という夢を語り合い、3年間の講座は終了しました。

## 2. 実施状況 講座内容及び参加者数（全7回 受講決定者数 20人）

日	内容	参加人数
6/25（土） （消費者センター）	部活準備：お互いを知るワークショップ ▶部活を考えるードリームマップづくり	19人
7/16（土） （消費者センター）	所属（創設）する部活の決定 ▶部活事例紹介 きまぐれサイエンス 原田佐和子 地域との出会い 檜枝光太郎	15人
8/27（土） （荻窪地域区民センター）	地域の活動拠点巡り・地域活動の先輩のお話をうかがう ▶なかまの家、木の芽のいえ、おぎよんに何う ▶部活の活動方針決め	10人
9/10（土） （消費者センター）	『文化祭』（部活イベントのお試しいvent開催）の企画・検討 ▶部活事例紹介 繋がる地域活動 染谷貞夫 すぎなみ大人塾 加藤俊也	14人
10/8（土） （消費者センター）	『文化祭』の準備 ▶部活事例紹介 イマドキの子どもたちの生態?! 渡邊麗	14人

11/12 (土) (荻窪地域区民センター)	『大人塾・荻窪文化祭』の開催 ▶部活で企画したイベントを地域でお試し開催します！	13人
12/10 (土) (荻窪地域区民センター)	『文化祭』のふりかえり・今後の地域活動ビジョンづくり ▶部活体験をふまえ、自分自身の地域活動ビジョンを描きます	13人

### 3. 令和4年度荻窪コース 受講者データ

#### 受講決定者 年代内訳

20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
0人	0人	3人	6人	6人	5人	20人

#### 受講動機 (開講前アンケートより)

- ・生まれてからずっと杉並区本天沼で住んできて、杉並区と荻窪を見直してみたいと思ってきました。テーマがその気持ちに合うかなと思いました。
- ・自分の地域（仕事場、住んでいるところ）での活動の参考にしたい。
- ・荻窪コース 2020、2021 に参加して、知り合いができて、地域活動や講座にも参加。協議会にも参加して視野が広がりました。今回、対面でスタートという英断と「部活」に興味を持ち申し込みました。
- ・「この土地で気のおけない友人が欲しい」というのが最も強い動機です。さらに、そのような友人たちと楽しみながら、地域に貢献できるなら、なおさら嬉しいです。
- ・今はフルタイムの仕事をしています。その仕事が今年度で終了します。時間ができるので、何か有効に生かせることに使いたいと思います。
- ・新しい“大人の趣味”をはじめたいと思ったから。

### 4. 成果と課題

#### 【成果】

まずは「お試しイベント」が無事に楽しく開催できたということに尽きると思います。終了後の、皆さんの笑顔とやり切った達成感、少し疲労感漂う表情を見ることができ、まずはこの講座の目的である、「自分たちで考えた企画を参加型のイベントとして荻窪で開催すること」が達成できたと感じました。

第6回で開催した「お試しイベント」は、1日開催でした。午前中は、居場所チームの4チームが、「なかまの家」と「木の芽のいえ」に分かれて、ほかのチームの受講生と一般の参加者に、自分たちの企画を披露しました。午後には、全員で荻窪地域区民センターに戻ってきて、全部のチーム（居場所チーム、発信チーム、まちあるきチーム）の企画披露を、一般の参加者、今までの荻窪コースの受講生たちの前で、実施することができました。とても楽しく、世代を超えて参加できる企画を考えてくださったので、今後荻窪のどこかで、さらには杉並区のどこかで、この活動のみることができたら、嬉しく思います。

次に、OgiLOVE（荻ラブ）という荻窪のホームページ（オンライン上の居場所）を作ったことです。これは、発信チームと受講生の一部が関わって立ち上げました。荻窪には地域拠点の数があまり多くないため、まずは「オンライン上でみんなとつながろう！」という趣旨で作られたものです。このホームページを更新していくために、リアルで集まって打ち合わせをしたり、イベントを企画したりと、HPというツールをきっかけにリアルでもオンラインでもつながれる「荻窪の居場所づくり」が生ま

れつつあります。

過去 2 年間の荻窪コースの活動記録、今年度の「お試しイベント」の案内、荻窪に限らず、区内で活動している様々な団体へのインタビューなど、たくさんの記事や動画がアップされています。1 つのコースに関わった人たちが多様な形態でつながる仕組みづくりを作ったのは、今までの大人塾のコースの中でも初めての取り組みとなるかと思います。今後、荻窪コースメンバーだけのつながりではなく、インタビューを受けた団体同士、大人塾のほかのコースの受講生など、荻窪地域を超えた大きな広がり、つながりができていくことを期待したいと思います。このホームページを起点に、点から線へ、線から面へとつながることで、今回荻窪コースで実践した「お試しイベント」が「お試し」ではないイベント、みんなの居場所づくりにつながる活動になっていくことを期待しています。

最後に、荻サポの皆さんたちの八面六臂の活躍が大きかったと思います。今年度の講座が始まった当初、「荻窪文化祭って何をするのか」とか、同じような興味や、やってみたいことでチームがなかなか作れず、先が見えない中で、講座に参加されていた受講生の皆さんの不安は大きかったかと思います。そのような時、受講生の伴走者であり、メンターの役割を果たしてくださった「スーパー荻サポ」の皆さんが、受講生の方たちとたくさんお話をして関わって下さいました。また、講座の中で自分たちが現在の活動に至った話、どんな活動をしているのか、まさに参加されている受講生の方たちと同じ立場から、今の「スーパー荻サポ」になっていったことがわかったことも、不安を軽減させてくれたことと思います。

#### 【課題】

課題としては、この講座でやろうとしていることや趣旨が、チラシや広報ではうまく周知できなかつたことがあると思います。講座途中で、受講生が減ってしまったことは、大変残念なことでした。講座タイトルからのイメージと本当に学びたかったことにずれがあった方もいたかもしれません。気楽に参加を試みたけれど、「荻窪文化祭」という響きに、そんなことが自分にできるだろうかと躊躇した方もいらしたと思います。もう少し丁寧に、事務局としても対応していく必要があったこと、伝えたいことが伝わるようにするためには、どのようにすればよいか、広報の方法については今後検討していく必要があると考えます。

昨年同様、コロナの影響は続きました。講座やお試しイベントについて、常に気にしながらの開催となりました。幸い、全ての講座を対面で開催することができましたが、今後も講座会場の使用方法や定員についても、検討していくことがまだまだ必須となると思います。

最後になりましたが、学習支援者の高橋さん、「スーパー荻サポ」の加藤さん、染谷さん、原田さん、檜枝さん、渡邊さん、今年度、そして 3 年間ありがとうございました。地域活動の楽しさと大変さを、教えていただいた 3 年間でした！



左より、加藤さん、染谷さん、原田さん、高橋さん、檜枝さん、渡邊さん

# 荻窪に自分の居場所・活動場所をつくろう

～大人の放課後 = 「部活」をはじめよう!～



学びの案内人 高橋明子 (株)エンパブリック

- 2022年度の荻窪コースは、3年間の地域コースの集大成として、「荻窪に自分の居場所・活動場所をつくろう」をテーマに掲げました。その目標に向かい、受講生の皆さんに地域に一步踏み出していただき、地域での活動を体験いただけるよう、いくつかの仕掛けを荻サポの皆さんと企画しました。
- 以下の4つの仕掛け(枠組み)を活用し、受講生の皆さんに主体的に活動いただくことを目指し、講座は6月にスタート。第6回(11/12)に荻窪文化祭(お試しいベント)を開催することを目標と決めました。

## 仕掛け①：部活

大人塾のテーマでもある大人の放課後の活動として「部活」を立ち上げ、お試しいベントを企画しよう!

第1回、第2回の講座で希望を出していただきながら、紆余曲折を経ながらも「居場所」「まち歩き」「発信」の3つの部活が立ち上がりました!

## 仕掛け②：地域拠点の活用

「部活」のお試しいベントは、地域の拠点(空き家活用拠点等)を利用することで、地域に役立つ催しにしよう!

第3回の講座で地域拠点巡りを実施。拠点で活動する方々のお話もうかがいました。



荻窪文化祭(お試しいベント)の様子



\* 詳細は講座記録のページをご覧ください

## 仕掛け③：荻窪文化祭(お試しいベント)開催

「部活」で練り上げたお試しいベントを、地域の方も交えて楽しむ「文化祭」として開催しよう!

- 11/12(土)午前: 木の芽のいえ、なかまの家をお借りして「居場所」チームが4つのお試しいベントを開催。地域のお子さんの参加もありにぎやかに。
- 同日午後: 荻窪地域区民センターにて、「まち歩き」「発信」のお試しいベント開催。過去2年間の受講生も参加者として駆けつけてくれました。
- どのお試しいベントも、受講生の皆さんがそれぞれのスキルを活かし、企画を立案、実行。参加者を大いに楽しませ、笑顔笑顔の1日に。
- 荻窪コースの新しいスタートともなる文化祭となりました。

部活	活動場所	活動内容
居場所	木の芽のいえ	この英語なかに 折り紙でメッセージカード
	なかまの家	誰でもモーツァルト メダカの学校
まち歩き	荻窪地域区民センター	まち歩きコースをつくろう 壁新聞をつくろう
発信		「地域活動の人々」発信企画紹介

## 仕掛け④：荻窪サポーターズ(荻サポ)の活動紹介

荻窪コースを共に企画し、運営してきた荻サポの皆さんに「部活」(地域活動)の先輩として、これまでの歩みや活動内容をお話いただきました。思わずぐっとくる場面が何度も。今後OgiLOVE(下記)で改めて紹介したいという声も出ています。

テーマ	荻サポ
きまぐれサイエンスでご近所づきあい	原田 佐和子
地域との出会いと活動の広がり	檜枝 光太郎
続ける地域活動を繋がる地域活動	染谷 貞夫
すぎなみ大人塾連から広がる地域のつながり	加藤 俊也
イマドキの子どもの生態?!	渡邊 麗

## ➤ 荻窪の居場所：OgiLOVEがスタート!

- 荻窪文化祭の体験をもとに、地域に一步踏み出した2022年度受講生の皆さん、荻窪コースの3年間で共に創りあげてきた荻サポのチームワーク、荻サポ檜枝光太郎さんの「ネット上に荻窪の居場所をつくりたい」という熱意、web制作に詳しい2022年度受講生の協力、「発信」チームの動きなどがひとつの流れとなり、OgiLOVEというサイト、そして団体が立ち上がりました!
- 2023年1月現在、既に活動はスタートしており、荻窪コースの活動はOgiLOVEで発展的に続いていきます。荻窪地域の今後の活動に、ご期待下さい。

### OgiLOVEホームページ



3年間、関係してくださった全ての皆さまに御礼申し上げます。ありがとうございました!

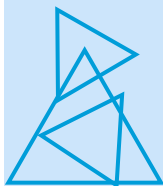
## 荻窪コース

学習支援者

高橋 明子  
(株)エンパブリック

学習支援補助者

加藤 俊也  
染谷 貞夫  
原田 佐和子  
檜枝 光太郎  
渡邊 麗



檜枝 光太郎

今年リアルの地域活動を受講生に体験してもらおうと頑張りました。コロナが終焉していないので、難しい状況もありました。が、11月12日の荻窪文化祭で、受講生の皆さんの素晴らしい発表があり、本当にうれしく思いました。受講生の力を信じて新しいことに挑戦して、良かったとしみじみ感じました。

この3年間を振り返って、受講生の皆さん、学習支援者の高橋さん、荻サポの仲間、事務局の皆さんに支えられて、素晴らしい経験ができました。感謝感謝です。3年間でできた仲間との関係を発展させて、荻窪を愛する仲間と自主活動「OgiLOVE」を始めます。こちらも皆さんのご支援をお願い致します。



渡邊 麗

その関係性の結びつきの条件は、ただ一つ「荻窪に住む」。

年齢・性別・経験 etc.を問わず集まった受講生の方達と、1年目わたしの荻窪 STORY（場を知る）、2年目わたしのワクワクビト（人を知る）、最終章の今年の荻窪文化祭お試イベント（仲間を知る）と、他では得難い経験でした。また人生の勉強になった部分がありました。コロナ禍という規制の下であったにせよ、その年その年の最善の方法で、たくさんの荻窪を知り、知り合う、事が出来ました。理由は違えどもこうして縁があって、舞い降りた「荻窪の地」を、力を合わせ、今後も荻窪人(オギクボビト)として「耕し」ましょう！



原田 佐和子

1年目、2年目に続き、3年目は「大人の部活、文化祭」というテーマに、最初はどんな方向へ進むのか、今一つつかめきれないままに、でも何だか楽しそう！と、受講生以上にワクワクしながら参加しました。講座のなかで、「ぶっつけ本番で1分動画を撮る」とか、「地域活動をしている拠点をめぐり、その活動の様子を拝見する」という体験をして、地域やひととのつながりの大切さも再発見しました。多彩かつ多才な受講者の皆さんと一緒に、私ももっと地域に活動を広げていきたいと思いました。こうした機会をくださった、社会教育センターの皆様、学びの案内人の高橋さんに感謝です。



染谷 貞夫

「大人塾 荻窪コース」が終了しました。毎年新しい企画で、私にとっても新たな発見と挑戦、そして荻サポと参加した受講生で起こる活発な化学反応を受け止めながらのとても楽しい3年間となりました。

特に今年は、大人の放課後、部活、荻窪文化祭などの魅力的なキーワードでスタートしたものの、どのようになるか期待より不安の方が大きかったのですが11月12日の文化祭（お試イベント）は地域の方や荻窪コース卒業生の参加もあって、受講生一人一人の今後の地域活動に繋がる、とても充実したイベントになったと思います。私は今回荻サポの一員として参加し、地域活動を再確認することができました。このつながりを大切に今後も取り組んでいきたいと思います。



加藤 俊也

荻窪コースは、コロナへの対応に追われた3年間でした。このため、講座外での懇親会や自主活動などに大きく制約を受けました。3年目の今回の講座で、最後まで参加してもらえなかった受講生が多かったのは、チームで取り組む地域活動の予行演習という、ちょっと難しそうな感じを、講座外の活動でフォローできなかったからかもしれないと、その重要性を再認識しました。

今、講座の先につながる地域活動のグループが立ち上がり、3年間の受講生の多く方が一緒に活動をしようとしていることが、最大の成果だと思います。

「面白いこと、楽しいことを大事にして、役に立つ地域の活動をやってみよう」という大人塾のスタイルで、今後も一緒に活動を続けたい、と思っています。



## 第1回「部活準備：お互いを知るワークショップ」

日時：令和4年6月25日（土）午後1時30分～4時30分

会場：消費者センター 第1・2教室

参加者：19人



部活でやりたいことを出し合いました

### 【講座内容】

最初に、受講生全員が1分間自己紹介CMの動画を撮影。3人一組の7チームになって、自己紹介をする人（被写体）、カメラマン、タイムキーパーの役割を交代で担当。その後、全員で撮影された自己紹介CMを見た。初めての試みと、動画撮影の技術的な面から不安があったが、会場が狭いため他のチームの声が入ってしまった点を除いて、スムーズに進み、受講生も楽しんでいた。

その後、撮影チームごとに荻サポが入ってドリームマップづくりワークショップを行い、「いつまでも住み続けたい街荻窪」、「そのためにできること・したいこと（部活）」の2つについて趣向性を付箋に記入。「したいこと（部活）」の書かれた付箋を荻サポで整理して、居場所、発信、荻窪を知る、文化・スポーツの4チームに分類し、それぞれやってみたいチームに分かれて、部活のイメージを話すワークショップを実施。最後に、各チームの議論の内容を荻サポが紹介し、全員で共有して講座を終了した。

（記録担当：荻サポ 加藤 俊也）

## 第2回「所属（創設）する部活の決定／部活事例紹介」

日時：令和4年7月16日（土）午後1時30分～4時30分

会場：消費者センター 第1・2教室

参加者：15人

### 【講座内容】

最初に、第1回のふりかえり、本日のアジェンダとゴール（部活決定）、今後の展開などの話があり、本日の流れが紹介された。続いて部活の事例紹介として、荻サポの原田さんから「気まぐれサイエンスでご近所付き合い」、檜枝さんから「地域との出会い」の話があった。

その後一人3分ずつ、いつまでも住み続けたい荻窪を意識しつつ「部活」でやってみたいことを発表した。発表を聞きながら荻サポでまとめた部の案を発表して、希望の部活に移動してもらった。各自が、部活の活動イメージを明確にするための企画書ワークシートに可能な内容を記入した。部活別に分かれたグループごとに、部活について話し合いを行った。最後に、各グループの話し合いの内容を荻サポが紹介し、全員で共有して講座を終了した。

（記録担当：荻サポ 檜枝 光太郎）





## 第3回 「地域の活動拠点巡り・地域活動の先輩のお話をうかがう」

日時：令和4年8月27日（土）午後1時30分～4時30分

会場：荻窪地域区民センター ほか

参加者：10人

### 【講座内容】

今回のメインは、拠点めぐり。地域で活動している拠点、おぎよん、木の芽のいえ、なかまの家の3カ所を数人ずつに分かれて訪問し、おはなしを伺った。受講者3チーム（街歩き、居場所、発信チーム）のメンバーが、すべての拠点の情報を共有できるように、受講者をそれぞれ拠点3カ所に振り分け、現地近くのわかりやすい場所で集合し、徒歩で移動した。荻サポメンバーも3カ所にわかれて訪問した。

（記録担当：荻サポ 原田 佐和子）

### ◆ 木の芽のいえ（コノメノイエ）

所在地：荻窪 3-35-28

木の芽のいえは、中央図書館近くの一軒家。空き家を活用している。1階（フローリング）、2階（中2階・和室）、3階にも2部屋あり、それぞれ独立して使うことができる。管理している永石さんから、おはなしを伺った後、質問タイム。どんな団体がどのような活動をしているのか、管理の仕方、団体同士の交流について、近隣との関係など、受講者から次々に質問が出た。ガレージや庭も拝見し、この場所をどう利用できるのか、というイメージが各自、広がったように感じた。

（記録担当：荻サポ 原田 佐和子）



### ◆ 杉並・ワーカーズまちの縁がわ なかまの家

所在地：成田西 4-8-15



松溪中学校正門前に13時30分に集合して、酷暑の中、徒歩で「なかまの家」に向かった。10分ほどで到着。主催者から説明を聞いた。NPO さざんかの元メンバーが中心となり2013年10月に誕生。誰でも出入り自由の「居場所」、気楽な「窓口相談」、暮らしのちょっとした困りごとの手助け「ほっとサービス」の3機能を持つ拠点。

開設の経緯から現在の状況まで、現在も活発に活動している様子うかがったお話やチラシからわかった。課題は担い手の高齢化に伴う悩み。私たちの質問に率直に丁寧に対応していただいた。往復の30分間ほどの間、歩きながら皆さんとおしゃべりできたので、コミュニケーションの時間として有効活用できて良かった。

（記録担当：荻サポ 檜枝 光太郎）

◆ 子ども食堂 おぎよん 所在地：荻窪 4-11-15

子ども食堂おぎよんの主催者の東海林さんから 1 階の食堂部分と地下のフリースペースの見学と説明をしていただき、その後、参加者（受講生）からの質問に応じて、子ども食堂運営を中心にお話をうかがった。

荻窪地域に子ども食堂がないので、荻窪地域区民センター協議会で開設しようとしたことなど地域での背景について荻サポからも説明をした。

（記録担当：荻サポ 加藤俊也）



拠点巡りのあとは、荻窪地域区民センターへ集合し、それぞれの拠点で感じたことを共有しつつ、部活ごとにどんな「お試しイベント」をやりたいか話し合いました。



## 第 4 回 『『文化祭』（部活イベントのお試し開催）の企画・検討』

日 時：令和 4 年 9 月 10 日（土）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

会 場：消費者センター 第 1・2 教室

参加者：14 人

### 【講座内容】

最初に荻サポの染谷から「つながる地域活動」、加藤さんから「すぎなみ大人塾」というテーマで地域活動で得られた体験をお話した。次に 8 月振り返りとして訪問した「なかまの家」「木の芽のいえ」「おぎよん子ども食堂」3 拠点の状況とその後チームごとに話し合った内容の報告を行った。

今回の本題は 11 月に実施する「お試しイベント」企画づくりで、各チームに分かれて検討し企画書を作成した。「街歩きチーム」のテーマは「作って歩こうお散歩コース」、「居場所チーム」は①メダカの育て方②実用的にやんこ折り紙③鼻歌からあなたも作曲家④えいごであそぼう、の 4 つの企画書を作成した。「発信チーム」は①ホームページで地域の活動グループの情報発信②荻窪コースの壁新聞作成などのアイデアを出した。それぞれのチームでお試しイベントに向けた準備が進むと同時に、チーム横断的な交流も出てきている。

（記録担当：荻サポ 染谷 貞夫）

## 第5回 『文化祭』の準備

日時：令和4年10月8日（土）  
午後1時30分～4時30分  
会場：消費者センター 第1・2教室  
参加者：14人



荻サポさんの活動紹介の場面です

### 【講座内容】

冒頭の荻サポの活動紹介は、「イマドキの子どもたちの生態！？」と題し、渡邊から、PTA 活動から始まりその後 20 年近くにわたって地域の子供達に関わりを持つ立場から実感し、問題と考えている事をスライドを交えながら話をした。

今年度の大人塾の活動内容には、子どもに関するテーマは直接には関係ないが、質疑応答では、受講生から活発に疑問質問が投げかけられた。後半は、十分に時間を取り次回 11 月 12 日に行う“お試しイベント”の企画の最終打ち合わせを、各チーム（居場所・まち歩き・発信）別により具体的に進める。1 ヶ月後の開催に向けて、荻サポを中心に盛り上がりをみせてきているように感じた。

（記録担当：荻サポ 渡邊 麗）

## 第6回 『荻窪文化祭』の開催

日時：令和4年11月12日（土）午前9時～午後4時30分  
会場：荻窪地域区民センター ほか  
参加者：受講生 13 人、一般参加者 16 名

### 【講座内容】

いよいよ、準備してきた「お試しイベント」を実践する文化祭当日です。午前中は、第3回で見学した木の芽のいえとかまの家の2か所の拠点を使い、午後は荻窪地域区民センターを使ってイベントを開催しました。

#### ◆ 木の芽のいえ (AM)

居場所チームの折り紙と英語カルタチームのお試しイベントを開催しました。前日から準備をして、ドキドキしながら迎えた当日でした。同日、木の芽のいえのガレージで、フリーマーケットを開催していたので、一般のお子さんを含むお客さんも遊びにきてくれました。最初は折り紙でにゃんこメモを作り、次に双子のカエルを折りました。にゃんこメモは何とかクリアできたものの、双子のカエルはかなりハードルが高い折り方でした。でも出来上がった時には達成感があり、皆さん笑顔になりました。大変だった時間を忘れるくらい、かわいい折り紙のカエルができあがりました。



みんなでにゃんこメモを折っています

休憩をはさんで、英語カルタを開催しました。カルタといっても、上の句を読んで、下の句の書いてあるカードを取るのではなく、うちわの表面に英語の慣用句などを書いて貼り、クイズとしました。その英語の慣用句は日本語では何なのか、みんなで考えます。答えはうちわの裏面に貼ってあります。答えがでたところで、みんなでそれについて色々話をし、わいわい盛り上がりました。

どちらのお試し企画も、子どもも大人も一緒に楽しめる企画で、これからぜひどこかでもう一度開催してもらいたいと思っています。

(記録担当：社会教育センター 山田)

### ◆ なかまの家 (AM)



「誰でもモーザルト」のレクチャー中

居場所チームの2つのお試しイベントを開催しました。

前半は、「メダカの学校」のイベントです。メダカを飼育する楽しさ、杉並でどんな生き物と出会えるのか、写真を交えたプレゼンを聞きました。当日は、実際にメダカを見て「これはオス？メス？」と話したり、エビのかわいらしい動きに癒されたりとゆったりとした雰囲気が進みました。プレゼンの後はなかまの家にある鉢に赤土や水草をセットして、メダカが育つ環境を作りました。今後、なかまの家でメダカが育っていくのが楽しみです。

後半は、「誰でもモーザルト」を開催しました。街中で流れているさまざまな曲に使われている「カノン進行」に合わせて、鼻歌を歌うような気持ちでメロディーをつくり、歌詞も考えました。はじめは、戸惑っていましたが、いざ発表してみると名曲ぞろいで、中には2番の歌詞にもチャレンジしている人もいました。ギターの音色とそれぞれの歌声が響く、素敵なワークショップでした。

今回、なかまの家という地域に根差した拠点を使い、なかまの家の方々の温かな心遣いもあって、和やかで、ワクワクする居場所につながるイベントになったと思います。

(記録担当：社会教育センター 野本)

### ◆ 荻窪地域区民センター (PM)

まずはまち歩きチームのお試しイベントを開催しました。まち歩きチームは、今日までに、各メンバーが荻窪でオススメのスポットを写真に撮ってきて、それを大きな荻窪地図にシールを貼り、スライドでその写真を投影しながら、オススメポイントを一人ずつ厳選の4か所について話しました。荻窪に住んでいても、みんなの着眼点は様々で、今まで知らなかったり、気づかなかつたりした箇所がありました。また参加者にも最後にグーグルマップを利用したお散歩コースの作り方の説明もあり、参加された方たちも実際に自分のオリジナルのお散歩コースがサイトを利用して作ることができることがわかりました。



参加者にオススメスポットを貼ってもらいました

作成した  
壁新聞



次に、発信チームのイベントです。このチームは、壁新聞を作ってみようという企画と荻窪のオンライン上の居場所を作ろうということで、荻ラブというHPを作ってください、その内容と今後どのようにしていきたいかという話がありました。これで、講座が終わっても荻窪コースのメンバーはつながっていくことができ、楽しみですね。

最後に午前中に荻窪のコミュニティスペース（なかまの家、木の芽のいえ）で、イベントをすでに開催した、居場所チーム4つのグループによるイベントが15分ずつではありましたが、発表しました。みんなでじゃんこメモを折り、英語のクイズを解いて、メダカについての話を聞いた後、鼻歌から作曲しようで午前中に作曲された参加者の曲が披露されました。笑いあり、真剣に折り紙を折り、あつという間の3時間半でした。

（記録担当：社会教育センター 山田）

## 第7回 「『文化祭』のふりかえり・今後の地域活動ビジョンづくり」

日時：令和4年12月10日（土）午後1時30分～4時30分

会場：荻窪地域区民センター

参加者：13人

### 【講座内容】

2022年度講座の最終回は、3つのプログラムで構成しました。

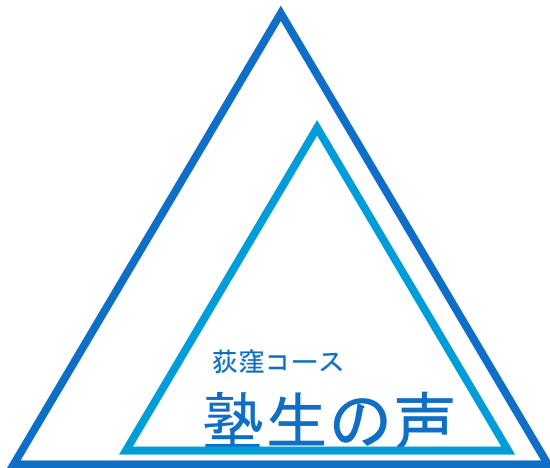
まず11月に実施した「荻窪文化祭（お試イベント）」や荻窪コースでの体験を「全力で自慢しあう」5分間のトーク番組収録にチャレンジしました。受講生の皆さんのそれぞれの体験を、改めて言葉にして発していただくとともに、3つの部活（居場所、街歩き、発信）メンバーを混ぜ合わせた4つのチームをつくることで、部活を超えた交流も意識。結果、2022の活動が5分×4つの番組にまとまりました。

続いて、2/25の合同成果発表会（仮称）に向けて、各部活で発表内容を討議しました。荻窪コースは終わりますが、活動は続いています。

最後に、第1回の講座で書いた「住み続けたい荻窪」のイメージについて、講座を経てどんな気づきや発見、あるいは変化があったか、最後の一言を発表しました。荻窪コース発、オンライン上に居場所をつくる「OgiLOVE」の活動もスタートし、最終回は、「終わりのはじまり」として次のスタートでもある、そんな1日となりました。

（記録担当：学びの案内人 高橋 明子）





**今後も地域で活動やイベント開催をしてみたいと思いますか。(具体的なイメージがあれば教えてください。)**

001 | 香取さん

自分の学びを深める、人とつながる、自分も楽しむ、イベントをやってみたいです。

002 | さえちゃんさん

「きずなサロン」を仲間と共に始めて4か月。月1度の開催で頑張っています。今はこの事業の継続が一番の目標です。会の開催準備は、それなりに大変なこともあります。会当日の2時間は自分がとても楽しめているのが、なにより自分へのごほうびです。

003 | Y.H.さん

地域活動をする人々、団体をつなぐ活動をしたい。

004 | 永石さん

仲間作り、居場所作り



第1回での「自己紹介CM」制作風景です

**講座に参加してみて「住み続けたいまち」とは、どのような「まち」のイメージになりましたか。参加前と変わりましたか。**

001 | 富田さん

人とあいさつしたり、話をできる…だんだんにそうしていきたい。

002 | あきおつちさん

「まち」は場所だけでなく「ひと」との関わりの中で作られていくものだなあと思いました。

003 | Y.H.さん

荻窪に住んでいる方々とたくさん知り合いになれる町であり、あいさつ、話ができる関係にしたいと思います。

004 | 香取さん

人とつながった「まち」(誰も知らない町から)。これからも人とつながる「まち」になりました。

005 | 永石さん

つながる街、つなげていく街

006 | 千坂さん

人が大切であることに気づいた。

007 | Y.H.さん

「社会という荒野を歩む仲間」ができたと思います。

008 | ペンネームさん

荻窪のようなまちです。自分がそこで色々交流していくことで実現すると思います。

参加してみてもいかがでしたか。  
全体的な感想をご自由にお書きください。

001 | もちこさん

受動的な立場（生徒、学生、患者）から能動的な立場を疑似体験させてもらいました。能動的な立場はとても大変なことがわかって、さらに豊かな経験になりました。

002 | 富田さん

良かった。退職し、自分の居場所をさがして、荻窪コースでもいつもの気づきがありました。

003 | 永石さん

何もわからずに参加しましたが、有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

004 | 香取さん

とても楽しく参加できました。HP というツールで今後もつながれそうで、わくわくします。

005 | Y.H.さん

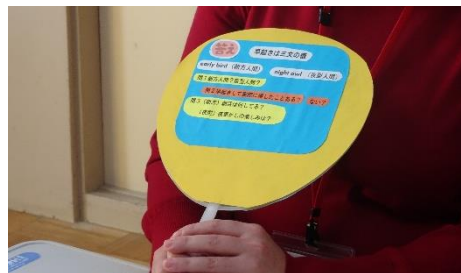
多才な方々が参加されていて、良い勉強をさせていただきました。

006 | Y.H.さん

部活の中で地域活動で表現したいと考えていたことがホームページで実現できました。大きな喜びです。



文化祭での「メダカの学校」終了後にメダカの生育環境をつくりました



文化祭では「英語カルタ」を使って交流しました

007 | 大崎さん

初めての参加で、最初はよくわからなかったのですが、段々慣れて、発表会は楽しかったです。

008 | あきおっちゃん

地域の人とのつながりを作りたいという目的で参加しましたが、素晴らしい人たちと出会えました。今後の活動の拡がりを楽しみます。

009 | 菅野さん

色々な会話や対話ができ楽しい荻窪コースでした。

010 | 千坂さん

良かったです。色々な人と親しくなれた。

011 | さえちゃんさん

大人塾 2022 のコンセプトが未だに完全に理解できたわけではありませんが、何とかコースを完走できたようです。

012 | Qちゃんさん

参加者が楽しかったと言えることが良かったと思います。3年がかりのコースの作り方、難しいなと思います。

013 | ペンネームさん

楽しかった。

# すぎなみ大人塾 荻窪コース

## 3年間の成果マップ

